

**開催間近！！『2012年ロンドンオリンピック』に関する意識調査****75.2%がロンドンオリンピックを「観戦・視聴する予定」****注目度の高い競技は「水泳(競泳)」(53.7%)、注目している選手は「北島康介」(61.6%)****金メダル予想は「5個」**

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:宮首 賢治)は、開催間近となった『2012年ロンドンオリンピック』に関して意識調査を実施しました。本調査は、2012年7月2日～7月4日にインテージ・ネットモニター“キューモニター”のうち20～59才の男女1,600名(全国)を対象としてインターネット調査を実施、結果をまとめました。

**◆調査結果のポイント****1. 75.2%がロンドンオリンピックを「観戦・視聴する予定」**

7月27日から開催されるロンドンオリンピックを観戦・視聴(ニュース番組等で結果のみを見ることは含まない)するかを聞いたところ、75.2%の人が「観戦・視聴する予定」と回答。性年代別では、男女ともに年代が上がるにつれ観戦・視聴の意向が高く、20代と50代では20%以上の差が見られた。一方、24.8%は「観戦も視聴もしない予定」。

(単数回答)(図1,表1参照)

**2. 観戦も視聴もしない理由の最多は「オリンピックに興味がないから」**

「観戦も視聴もしない予定」の人の理由として最も多いのは、「オリンピックに興味がないから」(49.9%)、次いで「忙しくて見る時間がないから」(32.5%)、「結果が分かればいいから」(29.7%)。

(複数回答)(表2参照)

**3. 9割近くがテレビでオリンピックを楽しむ**

ロンドンオリンピックを楽しむ方法は、圧倒的に「テレビ」が多く88.9%。次いで「インターネット(ソーシャルメディアを除く)」(53.8%)、「新聞」(39.8%)。

性年代別でみると、mixi、twitter、facebookなどのソーシャルメディアは、男女共に若い年代ほど利用率が高い。また、テレビ以外の方法については、女性よりも男性のほうが様々な方法を利用する傾向。

(複数回答)(表3-1,3-2参照)

**4. ロンドンオリンピックで女子ボクシングが初めて競技種目となる事だけは、半数以上が『知っている』**

ロンドンオリンピックに関する雑学の中で、「ロンドンオリンピックから種目に初めて「女子ボクシング」が加わる」は、半数以上の55.8%が『知っている』と回答したが、「第30回夏季大会」、「競技数が男女同数になる初の大会」、「競技数は26競技・302種目」など他の項目に関しては8割以上の方が『知らない』と回答。

(各項目で単数回答)(表4参照)

### 5. 注目競技ランキングは、1位「水泳(競泳)」、2位「サッカー(女子)」、3位「サッカー(男子)」

注目度の高い競技ランキングは、1位「水泳(競泳)」(53.7%)、2位「サッカー(女子)」(52.3%)、3位「サッカー(男子)」(46.8%)、4位「マラソン」(40.0%)、5位「体操競技」(37.4%)となった。

性年代別で最も注目する競技をみると、男性の20～30代は「サッカー(男子)」、40代「水泳(競泳)」、50代「サッカー(女子)」。女性はどの年代も「水泳(競泳)」の注目度が最も高い。

(複数回答)(表 5-1,5-2 参照)

### 6. 注目選手ランキングは、1位「北島康介(水泳)」、2位「内村航平(体操)」、3位「錦織圭(テニス)」

注目している選手を団体競技以外で聞いたところ、ランキングのトップは「北島康介(水泳)」で61.6%が注目している。2位「内村航平(体操)」(49.7%)、3位「錦織圭(テニス)」(39.0%)、4位「室伏広治(陸上)」(38.5%)、5位「吉田沙保里(レスリング)」(37.1%)となった。

男女別の注目度は、水泳(競泳)の「北島康介」「入江陵介」両選手に関して男性よりも女性の注目度が10%以上高く、女性の「水泳(競泳)」への注目度の高さが反映されている。

(複数回答)(表 6-1,6-2 参照)

### 7. 金メダル予想は「5個」が最多

2008年の北京オリンピックでは、日本は9個の金メダルを獲得した。しかし、ロンドンオリンピックでの金メダルの予想は、5個が最も多く15.8%。

(単数回答)(表 7 参照)

## 調査概要

調査方法: インターネット調査

調査地域: 全国

調査対象者: インテージ・ネットモニター“キューモニター” 20～59歳の男女

サンプル構成:

	20代	30代	40代	50代
TOTAL	400	400	400	400
男性	200	200	200	200
女性	200	200	200	200

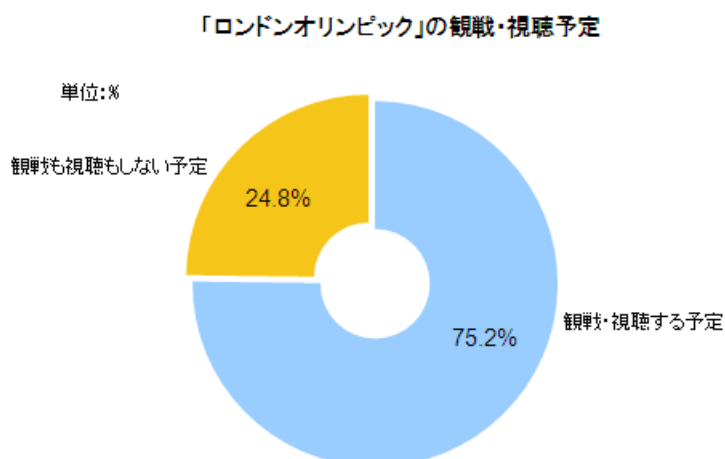
調査期間: 2012年7月2日(月)～7月4日(水)

調査実施機関: 株式会社インテージ

## 調査結果

Q1 あなたは 2012 年 7 月 27 日から開催される「ロンドンオリンピック」を観戦・視聴する予定ですか。(回答は 1 つ)  
 ※ここでの「観戦・視聴」には、ニュース番組等で結果のみを見ることは含まず、お答えください。

[図 1]



[表 1] 性・年代別

(%)

	回答者数	観戦・視聴する予定	観戦も視聴もしない予定
TOTAL	1,600	75.2	24.8
男性20代	200	61.5	38.5
男性30代	200	73.0	27.0
男性40代	200	77.0	23.0
男性50代	200	86.5	13.5
女性20代	200	64.5	35.5
女性30代	200	75.0	25.0
女性40代	200	78.0	22.0
女性50代	200	86.0	14.0

Q2 あなたが「今回のロンドンオリンピックを「観戦も視聴もしない予定」とお答えになった理由について、当てはまるものをすべてお選びください。(回答はいくつでも)

[表 2]

	回答者数	%
TOTAL	397	100.0
オリンピック自体に興味がないから	198	49.9
忙しくて観る時間がないから	129	32.5
結果が分かればいいから	118	29.7
スポーツに興味がないから	113	28.5
スポーツ観戦に興味がないから	94	23.7
時差が大きいから	69	17.4
興味のある競技がないから	37	9.3
競技のルールが分からないから	13	3.3
観たい競技の中継がないから	9	2.3
日本選手の活躍が期待できないから	6	1.5
好きな選手が出場しないから	4	1.0
観戦するなら生で（現地で）観たいから	1	0.3
その他	15	3.8

Q3 あなたは今回の「ロンドンオリンピック」に関して、開催期間中、どのような方法で見たり、聞いたり、情報収集(交換)したりしますか。(回答はいくつでも)

[表 3-1]

	回答者数	%
TOTAL	1600	100.0
テレビ	1422	88.9
インターネット（ソーシャルメディアを除く）	861	53.8
新聞	637	39.8
ソーシャルメディア（mixi、twitter、facebookなど）	135	8.4
ラジオ	122	7.6
ワンセグ	100	6.3
スポーツバー	23	1.4
特設会場（パブリックビューイング）	8	0.5
現地に行く	1	0.1
その他	4	0.3
特にない	106	6.6

[表 3-2]性・年代別

(%)

	回答者数	テレビ	インターネット (ソーシャルメディアを除く)	新聞	ソーシャルメディア (mixi, twitter, facebookなど)	ラジオ	ワンセグ	スポーツ パー	特設会場 (パブリックビューイング)	現地に行く	その他	特にない
TOTAL	1,600	88.9	53.8	39.8	8.4	7.6	6.3	1.4	0.5	0.1	0.3	6.6
男性20代	200	77.5	58.0	30.5	15.0	5.5	6.0	2.0	0.5	0.0	1.0	14.5
男性30代	200	90.0	58.0	37.0	10.0	8.0	10.0	3.5	1.0	0.0	0.0	5.5
男性40代	200	87.5	56.5	43.0	7.0	9.0	7.0	1.5	0.5	0.5	0.0	4.0
男性50代	200	96.5	67.5	61.0	6.0	14.5	9.0	0.5	0.0	0.0	0.0	2.0
女性20代	200	89.0	44.0	27.0	13.0	4.5	5.5	1.5	0.5	0.0	1.0	8.0
女性30代	200	88.5	45.5	23.5	6.5	4.0	2.0	0.5	1.0	0.0	0.0	7.0
女性40代	200	89.0	49.0	43.5	6.5	6.0	4.5	1.0	0.0	0.0	0.0	8.5
女性50代	200	93.0	52.0	53.0	3.5	9.5	6.0	1.0	0.5	0.0	0.0	3.5

Q4 あなたは、今回の「ロンドンオリンピック」に関連して、下記のことを知っていましたか。(各項目で回答は1つ)

[表 4]

(回答者数+横%)

	回答者数	知っている	知らない
夏季オリンピックとしては、第30回目	1600	16.9	83.1
ロンドンで開催されるオリンピックは今回で3回目	1600	16.5	83.5
同一都市で近代オリンピックが3回開催されるのは、ロンドンが史上初	1600	14.1	85.9
ロンドンで開催されるオリンピックには、日本は今回が初参加	1600	5.1	94.9
ロンドンオリンピックから種目に初めて「女子ボクシング」が加わる	1600	55.8	44.3
競技数が男女同数となる初の大会	1600	6.2	93.8
ロンドンオリンピックの競技数は26競技・302種目	1600	3.0	97.0

Q5 今回の「ロンドンオリンピック」であなたが注目している競技をすべてお選びください。(回答はいくつでも)

[表 5-1]ランキング・トップ 10

順位	種目	回答者数	%
1	水泳（競泳）	859	53.7
2	サッカー（女子）	837	52.3
3	サッカー（男子）	749	46.8
4	マラソン	640	40.0
5	体操競技	599	37.4
6	柔道	551	34.4
7	バレーボール	492	30.8
8	マラソン以外の陸上競技	391	24.4
9	水泳（シンクロ）	301	18.8
10	レスリング	277	17.3

[表 5-2] 性・年代別ランキング・トップ 5

(%)

	順位				
	1位	2位	3位	4位	5位
男性20代	サッカー（男子）	サッカー（女子）	水泳（競泳）	柔道	マラソン
	48.5	39.0	33.0	26.0	25.5
男性30代	サッカー（男子）	サッカー（女子）	水泳（競泳）	マラソン	柔道
	53.0	51.0	42.0	36.0	34.0
男性40代	水泳（競泳）	サッカー（女子）	サッカー（男子）	マラソン	柔道
	50.5	49.0	48.5	39.5	36.0
男性50代	サッカー（女子）	水泳（競泳）	サッカー（男子）	マラソン	柔道
	67.0	63.5	61.0	59.5	53.5
女性20代	水泳（競泳）	サッカー（女子）	サッカー（男子）	バレーボール	柔道
	52.5	45.5	39.5	33.5	30.5
女性30代	水泳（競泳）	サッカー（女子）	サッカー（男子）	体操競技	柔道
	58.5	51.0	38.0	34.0	32.0
女性40代	水泳（競泳）	サッカー（女子）	体操競技	マラソン	サッカー（男子）
	62.0	60.0	49.0	44.5	44.0
女性50代	水泳（競泳）	体操競技	サッカー（女子）	マラソン	サッカー（男子）
	67.5	62.0	56.0	55.0	42.0

Q6 今回の「ロンドンオリンピック」であなたが注目している日本代表選手をすべてお選びください。(団体競技の選手を除く)(回答はいくつでも)

[表 6-1]ランキング・トップ 10

順位	選手名	回答者数	%
1	北島康介 (水泳)	986	61.6
2	内村航平 (体操)	795	49.7
3	錦織圭 (テニス)	624	39.0
4	室伏広治 (陸上)	616	38.5
5	吉田沙保里 (レスリング)	594	37.1
6	入江陵介 (水泳)	532	33.3
7	福原愛 (卓球)	526	32.9
8	浜口京子 (レスリング)	414	25.9
9	田中理恵 (体操)	409	25.6
10	伊調馨 (レスリング)	390	24.4

[表 6-2]男女別ランキング・トップ 5

	順位				
	1位	2位	3位	4位	5位
男性	北島康介 (水泳)	内村航平 (体操)	室伏広治 (陸上)	吉田沙保里 (レスリング)	錦織圭 (テニス)
	55.9	44.9	39.8	36.6	35.4
女性	北島康介 (水泳)	内村航平 (体操)	錦織圭 (テニス)	入江陵介 (水泳)	吉田沙保里 (レスリング)
	67.4	54.5	42.6	38.6	37.6

Q7 今回の「ロンドンオリンピック」で日本は金メダルをいくつ獲得できると思いますか。(回答は 1 つ)

[表 7]

	回答者数	%
TOTAL	1600	100.0
0個	11	0.7
1個	23	1.4
2個	82	5.1
3個	178	11.1
4個	73	4.6
5個	252	15.8
6個	72	4.5
7個	95	5.9
8個	60	3.8
9個	27	1.7
10個	167	10.4
11個	10	0.6
12個	31	1.9
13個	7	0.4
14個	4	0.3
15個	47	2.9
16個	4	0.3
17個	8	0.5
18個	4	0.3
19個	0	0.0
20個	9	0.6
21個以上	9	0.6
分からない	427	26.7

【株式会社インテージ】 <http://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージ(市場名:東証1部・4326、本社:東京都千代田区、設立年月日:1960年3月2日、代表取締役社長:宮首 賢治)は、インテージグループ各社とともに、リサーチノウハウ、データ解析力、システム化技術と、これらに基づく情報評価力をコア・コンピタンスとして、経営およびマーケティング上の意思決定に役立つ情報(Intelligence)を提供。国内マーケティングリサーチ最大手として、お客様のビジネスの成功に貢献してまいります。

【この件に関するお問合せ先】

■株式会社インテージ 経営管理部 広報 IR グループ

担当:竹石(たけいし)／上村(うえむら)

TEL:03-5294-6000 FAX: 03-5294-8318

弊社サイト「お問合せフォーム」

<http://www.intage.co.jp/contact/>